

# キャリアラダー自己チェックの振り返りシート

記入例

\*項目は「埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（専門的能力に係るキャリアラダー）自己チェックリスト」を参照のこと

特に、「A:できる」と評価した項目に着目し、チェックリスト「コメント欄」の伝えたいこと（力を入れたこと）に記載した内容の詳細を記載する。

| 私の具体的実践<br>(担当した業務や住民とのかかわりの場面)   | 実践で達成できたこと・気づき  | 活動領域・<br>キャリアレベル   |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>発達に遅れが心配されるお子さんに対し、保護者と信頼関係を築きながら発達の様子を確認し、保育所や子育て支援センターと連携して支援体制を整えた。</li> <li>身近に相談者がいない外国人の子育て世帯への関わりにおいて、地区内の外国人コミュニティや利用可能なサービスを紹介し、対象者が参加、利用できるよう手配した。</li> <li>台風による大雨で川が氾濫した場合の避難が困難だという話を住民から聞き、一人暮らしの高齢者や外国人など、避難に支援が必要な住民の状況を調査し、地域の課題として整理した。</li> <li>若年層を対象とした HIV・性感染症予防対策として、学生ボランティアと協力し、啓発活動や即日検査イベントを実施した。</li> <li>埼玉県健康福祉研究発表会で、がん検診受診率向上キャンペーンとして行った取り組みについて発表した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>多職種・多機関で関わることで、対象者は相談先が増えたことに安心でき、私自身も対象を捉える視点を広げることができた。さらに、チームによる支援を通して保健師としての役割をより明確にすることができた。</li> <li>地区にどのような活動があるかを調べ、外国人コミュニティや教会で行われている多世代交流サロン、通訳団体の活動を知ることができた。また、社協に協力を依頼し、対象者が参加、利用できるよう、各団体へつなぐことができた。自身も各団体メンバーと顔つなぎすることができた。</li> <li>災害時に特に支援が必要な人がいることを改めて認識し、それぞれの生活状況や必要な支援を把握することができた。さらに、日頃から問題意識を持って住民と関わることで、潜在的な課題にも目を向け、予防的な対応を心がけながら関わるようになっていった。</li> <li>若年層の関心の低さという課題に対して、学生ボランティアと一緒に事業を企画・実施し、若者に伝わりやすい周知媒体を作成することで、関心を高めることができた。今後も若い世代の意見を取り入れながら活動を継続し、意識の変化や受検行動への影響を評価していく自信を得ることができた。</li> <li>がんの早期発見・早期治療を目指した取り組みを振り返り評価する中で、事業を継続する重要性を改めて認識することができた。また、対象に応じた取り組みの工夫が必要であることに気づき、評価の大切さを実感することができた。</li> </ul> | <p>1-1：個人及び家族への支援（A-3）</p> <p>1-2：集団への支援（A-2）</p> <p>2-1：地域診断・地区活動（A-3）</p> <p>3-1：事業化・施策化（A-2）</p> <p>5-1：PDCAサイクルに基づく事業・施策評価（A-2）</p> <p>6：保健師の活動基盤（A-3）</p> |